

令和2年度第1回朝日町総合教育会議 会議録

令和2年5月22日（金曜日）

午前10時15分から午前11時45分

創遊館会議室

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸
朝日町教育委員会
教育長 小林 道和
委員 五十嵐義一
委員 井上 幸弘
委員 村山 千鶴
委員 橋間 博美

職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 阿部 正文
主幹 田中 靖士
課長補佐兼学校教育係長 佐々木直美（書記）
主査兼生涯学習係長 伊藤 雅樹

1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

2. あいさつ

鈴木 浩幸 朝日町長
小林 道和 教育長

3. 協議事項

阿部課長より会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

議長（鈴木町長） （1）コミュニティ・スクールの推進及び保小中連携一貫教育についての前段について説明を求めた。

主幹 資料により3年目となるコミュニティ・スクールの今年度の取り組み内容及び今年度発足予定の大谷っ子サポーターズクラブと先般の第1回学校運営協議会の開催結果等について説明。

議長（鈴木町長） （1）の協議内容について質疑、意見の有無を確認した。

五十嵐委員 先般開催された第1回学校運営協議会を参観し、今年度で3年目となり回数を重ねて学校運営協議会委員の意見がまとまってきていると感じられた。

村山委員 大谷小学校の学校運営協議会では学校休業中における家庭での児童の過ごし方、地域団体の活動等、活発な意見交換がなされていた。

橋間委員 朝日町コミュニティ・スクールは確実に前に進んできている。2名体制の地域と学校をつなぐコーディネーターとそれを支えるのが公民館であると思う。また各学校運営協議会会長からの声掛けを通して学校と地域が繋がってきて

- いる。大谷小学校のサポーターズクラブが人材データバンクをつくっていくことを期待する。
- 井上委員** 朝日町の子供たちを学校だけではなく地域の方も関わって育てていく。子育て現役世代ではないがいろんな人・組織がつながり活動し広がっていくことが大切。それには特別な人が特別なことをするのではなく、誰もが気楽に関われることを周知することも必要。
- 教育長** コミュニティ・スクールの両輪である学校運営協議会と地域学校協働活動が連携し一体的になることが理想。地域の方が得意分野で関わる。非常に素晴らしい。いい実践結果となることを期待する。
- 議長（鈴木町長）** 大谷っ子サポーターズクラブが地域学校協働活動のひとつのモデルとなり町内の他の小学校にも広がっていくことが理想。
- 教育長** 各公民館長がまとめ役ではあるが1人1人がコーディネーター役を担い、それぞれが得意分野で支援していく。
- 議長（鈴木町長）** 「長期的なスパンで少しずつという」説明について
主幹 長く続けるためには誰が委員となっても継続可能なシステムの構築が必要と考えている。
- 議長（鈴木町長）** 学校運営協議会委員について
主幹 資料を基に説明
- 議長（鈴木町長）** 朝日町のコミュニティ・スクールは地域の方々も含め着実に進んできていることを実感した。大谷小学校の取り組み「大谷っ子サポーターズクラブ」は町内の他の小学校は認識しているのか。
教育長 全体会で報告し情報共有している。
- 議長（鈴木町長）** このような取り組みを一般町民の方にも広報誌等でお知らせできればよいのではないか。
- 議長（鈴木町長）** （1）後段について説明を求めた。
主幹 保小中連携一貫教育については2本の具体的な柱である「英語学習・国際理解教育」と「ふるさと学習・郷土教育」を軸とし機能的に実践していることについて説明。
「英語学習・国際理解教育」は昨年度に保育園から中学校までの12年間一貫したカリキュラムを作成し、今年度は「ふるさと学習・郷土教育」のカリキュラムを作成する。
- 議長（鈴木町長）** （2）臨時休業に伴う教育課程の変更について説明を求めた。
主幹 資料により臨時休業に伴う授業時数確保の基本的方針と今後の夏季休業の予定と町全体、各学校の状況について説明。
- 議長（鈴木町長）** （2）の協議内容について質疑、意見の有無を確認した。
議長（鈴木町長） キャリアスタートと芸術鑑賞教室は授業日数に含まれていないのか。
主幹 どちらも学校行事であり授業日数には含まれない。
- 議長（鈴木町長）** 保護者への通知はどのようにするのか。
主幹 各学校から保護者に通知する予定。
- 井上委員** 子供たちが楽しみにしていた行事の中止は残念だが授業日数が確保されるのでひとまず安心。県内の他小学校の3密を避けるための方策が新聞に写真で

掲載されていた。今後、生徒と先生が1対1となる学習が主体となり子供たち同士の協働学習が弱くなることが心配される。手洗い、換気等の方策により以前と変わらない学習が可能ではないか。

- 教育長** コロナ禍での子供たちの学習については新しい生活様式をいかに日常化していくかである。ここで小規模校が強みになる。少人数で距離を置き体育館等の広い空間を活用し学習する形態が可能ではないか。事例として朝日中学校では理科の授業を体育館で実施した。
- 議長（鈴木町長）** 今後、授業形態はどうなるのか。
- 主幹** 文部科学省より3密を避けた授業の実施とあるので、これまでのコの字型やペア・グループで学びあう対話的な授業形態から全員が黒板を向く一斉学習形態になってしまうことが懸念される。
- 議長（鈴木町長）** 黒板を向き講義を受ける授業形態となるのか。
- 教育長** お互いに向かい合っただの協働スタイルではなくなる。
- 井上委員** これにGIGAスクール構想によるICTを活用した授業になると、以前は相互に全体的に理解が高まっていたものが個人個人の学習となり子供たちを分断していくことにつながるのではないか。
- 橋間委員** オンライン授業、GIGAスクール構想によるICTを活用した学習活動に対応する先生方も大変だと思われる。
- 他県の中学校であるがオンライン授業を実施した際に全体の中で6%の家庭がオンライン授業を受ける環境が整わず10人くらいの生徒が学校に登校し授業を受けた。休校の際にオンライン授業を実施した場合、各家庭ではどの程度対応できるのか。オンライン授業によりさらに格差が広がるのではないか。
- 主幹** 文部科学省の調査によると今年の4月時点でオンライン授業を実施した公立小中学校は全国で5%。朝日町ではオンライン授業を実施するにあたり各学校を通して各家庭にインターネット環境の調査をしている。6月の教育委員会定例会において調査結果を報告できるものとする。
- 議長（鈴木町長）** さきほどの他県のオンライン授業を実施した中学校のインターネット環境が整っている家庭の割合はどのくらいか。
- 橋間委員** 94%の家庭でインターネット環境が整っている。
- 議長（鈴木町長）** そのオンライン授業も授業日数にカウントするのか。
- 主幹** 今回の臨時休業中であれば授業日数にカウントしないと思うが、確認します。
- 議長（鈴木町長）** GIGAスクール構想整備事業の進捗状況は。
- 課長** 6月の定例会において提示する。
- 一人一台端末の早期実現と高速通信環境の整備について説明。
- 議長（鈴木町長）** 事業整備後は家庭でも学校と同様に端末の使用は可能となるのか。
- 主幹** 文部科学省では将来的には家庭学習でも活用したいと進めているがルーター、ポケットWi-Fi等がないと家庭では使用できない。
- 五十嵐委員** 全国的なことであるので問題点を解消し進めていく必要がある。
- 村山委員** これからさき子供たちのコミュニケーション能力が低下しないか。社会で仕事をしていく上でコミュニケーション能力は必須となる。そのあたりの指導をどのようにするのか先生方は大変だと思う。

- 今年度の中体連は実施されるのか。
- 主幹** 来週に通知が届く。
- 五十嵐委員** この状況下では中学3年生が非常に気がかりである。
- 井上委員** 進路にも関わることなので心配される。
- 議長（鈴木町長）** これまで指導してきた経験の中で現状をどのように捉えているか。
- 五十嵐委員** 今後どうなるのか先が見えない。これまでにない状況。
- 議長（鈴木町長）** いろいろな大会が中止になったことに対するケア、特に中学3年生への指導が必要。
- 教育長** 何らかの形で手当てケアをすることが必要だが非常に難しい対応であり今後の課題である。中学校の部活動のこれまでの成果を校内で発表する、試合形式にする等、検討。
- 議長（鈴木町長）** オンライン授業について進めなければならないが、コミュニケーション能力は生きていく上で必須でありICT活用とのバランスが大事。学校運営協議会においても検討していただきたい。
- 教育長** 校長会においても議題となる。より望ましい形になるように検討していきたい。新しい生活様式を日常化していくには学習のありかたをより深く研究していく必要がある。
- 議長（鈴木町長）** 不幸にして今後、第2波、第3波により授業日数が不確保となった場合にはどう対処するのか。
- 主幹** 文部科学省の指示により2～3年かけて対処することになる。
- 井上委員** 通常、6年生の授業内容は5年生の復習と併せて実施するが、5年生の復習を縮減し6年生の内容を優先に進めていくことになる。
- 議長（鈴木町長）** 全国的な状況のなかで朝日町独自の学習指導スタイルの確立は可能なのか。
- 主幹** 文部科学省の学習指導要領に基づいたなかで朝日町独自のスタイルを進めていくことは可能ではあるが。
- 教育長** 学習指導要領に基づくことが前提にある。
- 議長（鈴木町長）** 全国的な状況下においては、国策としての国の統一的な方針・対応を示していただく必要がある。

以上、協議し、午前11時45分に第1回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

閉 会